

委員会事業方針・事業計画

総務広報委員会

担当副理事長 山田 貴之

基本方針

五所川原青年会議所は創立から59年の歳月が経ち、我々の先輩諸兄は地域の「明るい豊かな社会」実現に向けて常に挑戦し続けて参りました。先輩諸兄から脈々と受け継がれてきました、最善のまちづくり、ひとづくり運動の精神、その意思を次の世代へと受け渡すためにも我々が見本となる、規律ある組織運営を確立しなければなりません。また新型コロナウイルスが蔓延し、世界が混沌とした今だからこそ、組織力を強く、正確な情報を伝え、青年会議所運動を展開していかなければなりません。

その為にも、当会の運動展開を広域的かつ迅速に SNS で発信し、地域への認知、浸透を図り、広く地域からの信頼を得られる環境を培って参ります。また公益法人制度を基に執行部と密に連携を図りながら、総会並びに各種定例会を円滑に執り行う事で、確実な組織体制を構築いたします。そして先輩諸兄から受け継がれてきました五所川原青年会議所創始の精神を絶やさぬよう次の世代へと繋げる為の12月定例会を開催いたします。

総務広報委員会では、組織の根幹である総会・各種定例会を適切に企画・運営し、組織の地盤を支え、公明正大で信がある青年会議所運動の情報発信をすることで、当会の発展・地域の未来を切り開く糧となることを確信し、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

例会の主管

◎新年祝賀会（1月）他1

新体制でのご挨拶、当会の2023年度の活動内容と方針を来賓の方々に向けて発表し、理解を深めて頂くことを目的とした事業。

| | | | |
|--------|----------|-------|---------|
| ・通信運搬費 | 40,000円 | ・消耗品費 | 1,500円 |
| ・印刷製本費 | 14,500円 | ・賃借料 | 80,000円 |
| ・委託費 | 154,000円 | ・雑費 | 1,000円 |

予算 290,500円

◎通常総会（2月）管理費に計上

当会に2022年度の事業報告及び、収支決算報告承認を行うことを目的とした総会。

| | | | |
|--------|--------|-------|----------|
| ・通信運搬費 | 7,000円 | ・消耗品費 | 2,000円 |
| ・印刷製本費 | 4,000円 | ・賃借料 | 121,000円 |
| ・委託費 | 4,000円 | ・雑費 | 1,000円 |

予算 139,000円

◎定例会（7月）他1

役員選考委員会委員選挙

当会の2024年度の役員選考委員会委員を選出することを目的とした定例会。

| | | | |
|--------|---------|-------|---------|
| ・通信運搬費 | 6,000円 | ・消耗品費 | 2,000円 |
| ・印刷製本費 | 10,000円 | ・賃借料 | 4,000円 |
| ・委託費 | 5,000円 | ・雑費 | 15,000円 |

予算 42,000円

◎通常総会（9月）管理費に計上

当会の2024年度の役員候補者及び組織図案の承認を行うことを目的とした総会。

| | | | |
|--------|--------|-------|----------|
| ・通信運搬費 | 7,000円 | ・消耗品費 | 2,000円 |
| ・印刷製本費 | 3,000円 | ・賃借料 | 121,000円 |
| ・委託費 | 3,000円 | ・雑費 | 1,000円 |

予算 137,000円

◎定例会（12月）他1

今年度から次年度へ創始の精神を繋げる事を目的とした定例会。

| | | | |
|--------|---------|-------|----------|
| ・通信運搬費 | 5,000円 | ・消耗品費 | 5,000円 |
| ・印刷製本費 | 14,000円 | ・賃借料 | 242,000円 |
| ・委託費 | 6,000円 | | |

予算 272,000円

◎ LOM 内褒賞の開催 他1

2023年度の青年会議所運動に貢献・功労したメンバー及び委員会へ褒賞の企画を目的とした事業
(LOM 内褒賞)

・雑 費 75,000円

| | |
|----|---------|
| 予算 | 75,000円 |
|----|---------|

| | |
|-------|----------|
| 事業費合計 | 679,500円 |
|-------|----------|

| | |
|-------|----------|
| 管理費合計 | 276,000円 |
|-------|----------|

まちづくり委員会

担当副理事長 高橋 溪太

基本方針

2019年度より世界で猛威を振るっている新型コロナウイルス、生活様式は様変わりし、今もなお日常生活および経済活動が制限されております。我々の活動も例外ではなく規模縮小や中止を迫られ、発生から三年が経ちましたが未だに対応が求められています。しかし、どんな状況でも我々のまちづくり運動の歩みを止めてはなりません。臨機応変に事業を構築し、市民が自分の地域を愛せるようなまちづくり運動を展開していかなければなりません。

そこで、市民がまちづくり運動に携われる機会を創出し、社会参画意識を向上させるためにも、当会が率先して市民と行政のパイプ役になり「市民」「行政」「当会」が三位一体となってこの地域について考えていく事業を臨機応変に対応し展開していきます。さらに、当会員が社会参画について学び、世代の垣根を超えて五所川原らしさ、地域らしさを考えながら構築して地域の活性化を目指す事業を展開しよりよい社会にしていきます。

まちづくり運動を推進し、この地域に住み暮らす市民一人ひとりが街に対する当事者意識を変えていき地域を愛する事で、「明るい豊かな社会」の実現に繋がるものと確信し、一年間職責を果たせるよう邁進して参ります。

委員長 佐々木 康 幸

基本方針

2019年度の新型コロナウイルス感染拡大から三年経つ今もなお、人々の日常生活や経済活動は制限を受けています。当会でもこれまで「市民・行政・当会」が三位一体となり展開・実施してきた事業も長らく中止を余儀なくされ、市民の社会参画意識向上の機会も失われたままとなっております。

まちづくりにおいて市民参画は必須事項であり、当会は「市民を中心とした市民のためのまちづくり」を行うべく、臨機応変に事業を構築・展開し、この地域の住民を巻き込んでいかなければなりません。

その為には、長らく中止していた五所川原市民討議会のような「市民・行政・当会」が三位一体となる事業を改めて構築・展開し、市民の社会参画意識を高めると共に、新たなまちづくりへの一步を踏み出していきます。また、未来のまちづくりを率先して担い、まちづくり運動の模範となるであろう当会員の意識を高めるため、まちづくりのビジョンと実現に向けたミッションを共有し、小さな成功を積み重ねて参ります。

まちづくりは一年にして成りません。揺らぐことのないまちづくりのビジョンを掲げ、「市民・行政・当会」が三位一体となり、ミッションを共有・達成していくことで「明るい豊かな社会」の実現に向け、前進していけるよう一年間尽力して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（5月）公3

「2023年度五所川原市民討議会」

市民の社会参画意識向上を目的とした市民討議会。

・支払寄付金 300,000円

| |
|-------------|
| 予算 300,000円 |
|-------------|

◎定例会（10月）公3

当年度の五所川原市民討議会で作された意見を基に具現化する事業。

| | | | |
|--------|---------|-------|----------|
| ・通信運搬費 | 10,000円 | ・消耗品費 | 10,000円 |
| ・印刷製本費 | 10,000円 | ・賃借料 | 30,000円 |
| ・諸謝金 | 30,000円 | ・委託費 | 300,000円 |
| ・雑費 | 10,000円 | | |

| |
|-------------|
| 予算 400,000円 |
|-------------|

※その他の事業

◎2023年度五所川原市民討議会報告会（11月）公3

当年度の五所川原市民討議会とその実行事業の結果を五所川原市・市民に報告する報告会。

・支払寄付金 100,000円

| |
|-------------|
| 予算 100,000円 |
|-------------|

| |
|----------------|
| 事業費合計 800,000円 |
|----------------|

青少年委員会

担当副理事長 葛 西 良 樹

基本方針

豊かな自然と人の温もりの中で我々を育み続けてきた、我がふるさと奥津軽。愛するこの地域の次なる担い手は、今を生きる子ども達に他なりません。コロナウイルス感染症により青少年に掛かるストレスが増加の一途を辿って来ました。こんな時こそ、地域の未来である子ども達の精神力を強く、そして心豊かに成長させていかなければなりません。家族や仲間を思いやる青少年へ心身ともに成長させ、コロナ禍に負けない、地域の未来を切り拓いて行く人財を育成する事が必要だと考えます。

その為に、当委員会では日常生活では決して経験する事の出来ない様々な体験、学びの場を創出する事で、何事にも臆せず挑戦し、思いやり溢れる青少年の育成へと繋げていきます。また、集団行動、集団生活において身につく規律、協調性、精神力のある人財となるよう、お金では買えない価値ある時間を提供し、未来を切り拓いていく地域の子どものバックアップは勿論、心身ともにたくましく、思いやりある青少年を育成して参ります。

我々の事業を通じて経験していく事は、必ず今後の人生を照らす光となります。その光がコロナ禍であっても、周囲にそして地域に波及し、やがては「明るい豊かな社会」の創造に繋がるものと確信し、一年間邁進して参ります。

委員長 小 野 顕 成

基本方針

次なる未来を切り開くのは地域に住む子ども達です。その子ども達はコロナウイルス感染症の流行により新生活様式に順応する一方で、外での運動や地域の体験学習の減少により目に見えないストレスが増加しており、地域の未来を切り開く大人になる為に必要な自己成長への意欲が失われています。自ら声をかけ仲間を作り苦楽を共にし、困難にも屈せず乗り越えることで培われる規律と友情は生涯の財産となります。今こそ、子ども達が自発的に挑戦し仲間との友情を育む機会が必要です。

そこで、地域に住む子ども達がスポーツを通じて身体を動かし挑戦する機会を創出することで、ルールの中で自ら考え実行する力と仲間と行動するうえでの協調性を育みます。また、仲間と生活を共にしながら一つの目標に向かって互いに支え合い、困難にも臆せず乗り越えることで培われる思いやりの精神と、生涯の財産となる友情を育むことのできる「じょっぱりロード」を開催することで、心身ともにたくましく仲間や地域への思いやりに溢れる人間へと成長します。

スポーツを通じて規律と精神力を育み、徒歩修行を通じて自らの成長と仲間への思いやりが培われる経験は唯一無二であり生涯の財産となります。子ども達はその経験を糧として大人へと成長していくことで、必ずや地域の「明るい豊かな社会の実現」に向けた一助となります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（4月）公1

「スポーツを通じた青少年育成事業」

スポーツを通じて身体を動かし挑戦することで、規律と友情を育む事業

| | | | |
|--------|----------|-------|---------|
| ・通信運搬費 | 10,000円 | ・消耗品費 | 20,000円 |
| ・印刷製本費 | 10,000円 | ・保険料 | 30,000円 |
| ・委託費 | 120,000円 | ・雑費 | 10,000円 |

予算 200,000円

※定例会（8月）公1

◎「地域の職業体験（仮称）」（10月）公1

「じょっぱりロード2023～OMOIYARIの旅～」

徒歩修行を通じて思いやりの精神と仲間との友情を育む事業

| | | | |
|--------|----------|--------|---------|
| ・旅費交通費 | 300,000円 | ・通信運搬費 | 10,000円 |
| ・消耗品費 | 100,000円 | ・印刷製本費 | 20,000円 |
| ・燃料費 | 20,000円 | ・賃借料 | 30,000円 |
| ・保険料 | 90,000円 | ・諸謝金 | 30,000円 |
| ・委託費 | 550,000円 | ・雑費 | 50,000円 |

予算 1,200,000円

※その他の事業

◎「ボランティアスタッフ研修会」（6～8月）公1

じょっぱりロードの参加者をサポートするスタッフを育成する事業

| | | | |
|--------|---------|-------|---------|
| ・旅費交通費 | 5,000円 | ・消耗品費 | 5,000円 |
| ・印刷製本費 | 5,000円 | ・賃借料 | 15,000円 |
| ・委託費 | 70,000円 | | |

予算 100,000円

事業費合計 1,500,000円

まつり委員会

担当副理事長 工藤 智哉

基本方針

「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込め先人達や、五所川原青年会議所の先輩諸兄から、脈々と守り伝え愛されてきた「奥津軽虫と火まつり」。昨年度は、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で節目の第50回を無事に開催することができました。しかし、長引くコロナ禍の影響もあり参加団体減少や地域コミュニティの衰退などの問題を抱えております。伝統の燈火を絶やすことの無いよう関係諸団体や地域企業との連携を密にし、継続的な運動を展開していかなければなりません。

その為にも、地域の未来の担い手である子ども達に「奥津軽虫と火まつり」の意義を伝承すると共に周知し、この「時」にしか味わえない価値を共感して頂き、まつりに参画出来る環境の整備をして参ります。また、まつり主催団体である五所川原青年会議所会員一人ひとりのまつりに対する意識の高揚を図りながら「奥津軽虫と火まつり実行委員会」を組織し、関係諸団体と連携し、現在抱えている問題に取り組みながら時代に適したまつり開催を目指します。

半世紀に渡りこの地域に伝承されてきた「奥津軽虫と火まつり」。その伝統の燈火を次世代へ絶やすことなく伝承する事により、この地域の「弥栄」に繋がり、「明るい豊かな社会」の創造となるものと確信し一年間邁進して参ります。

委員長 島谷 昌孝

基本方針

昨年夏の豪雨災害により、この街に住み暮らす人々が少なからず恐怖を感じた事は記憶に新しい出来事であります。この町を支える第一次産業の農産物にも大きな危害を及ぼす事態となりました。新型コロナウイルスや未曾有の災害が起こりうる、時代だからこそ地域の幸せを願う祭りとして「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込めた「奥津軽虫と火まつり」の意義を伝承し、関係諸団体や地域企業との連携を密にし、継続的な運動を展開していかなければなりません。

地域の未来の担い手と共に、この「時」にしか味わえない価値を共感し、親善大使活動を通して祭りの意義を伝承し、子供たちがまつりにふれあう機会を創出いたします。また、「奥津軽虫と火まつり」の次なる半世紀へ向けた第一歩を踏み出す為、五所川原青年会議所会員一人ひとりのまつりに対する意識の高揚を図り、会員同士の連携はもちろんの事、地域を巻き込み、新たな仲間の輪を広げ時代に適したまつり開催を目指します。

先輩諸兄から脈々と守り伝え愛されてきた「奥津軽虫と火まつり」の未来を想像し、伝統の燈火を時代に即した形へ発展させ、次世代へ絶やすことなく伝承する事により、この地域の「弥栄」と「明るい豊かな社会」の創造となるものと確信し、一年間職務を果たせるよう邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（3月）他2

「半世紀を振り返り、半世紀先を想像する定例会」（仮称）

次なる半世紀への第一歩を踏み出す為、会員一人ひとりがまつりの意義や目的を再認し、より知識を深めることを目的とした定例会。

| | | | |
|--------|---------|-------|---------|
| ・通信運搬費 | 20,000円 | ・消耗品費 | 20,000円 |
| ・印刷製本費 | 30,000円 | ・賃借料 | 10,000円 |
| ・委託費 | 30,000円 | ・雑費 | 20,000円 |

予算 130,000円

◎定例会（6月）公2

「第51回 奥津軽虫と火まつり」

公益社団法人五所川原青年会議所が主催し、地域の人々や参加者とともに「天下泰平・国家安泰・五穀豊穡・悪疫退散」の祈りを込め、地域の幸せを願う定例会。

| | | | |
|----------|------------|--------|------------|
| ・旅費交通費 | 2,000円 | ・通信運搬費 | 55,000円 |
| ・消耗什器備品費 | 220,000円 | ・消耗品費 | 1,280,000円 |
| ・修繕費 | 20,000円 | ・印刷製本費 | 40,000円 |
| ・賃借費 | 180,000円 | ・保険料 | 250,000円 |
| ・諸謝金 | 315,000円 | ・支払負担金 | 35,000円 |
| ・委託費 | 2,020,000円 | ・衛生費 | 183,000円 |
| ・雑費 | 200,000円 | | |

予算 4,800,000円

※その他の事業

◎奥津軽虫と火まつり親善大使事業（仮称）（3～6月）公2

高校生・大学生からなる「奥津軽虫と火まつり親善大使」が活動する事業。

| | | | |
|--------|---------|-------|---------|
| ・通信運搬費 | 20,000円 | ・消耗品費 | 15,000円 |
| ・印刷製本費 | 20,000円 | ・賃借料 | 15,000円 |
| ・保険料 | 30,000円 | ・委託費 | 30,000円 |
| ・雑費 | 20,000円 | | |

予算 150,000円

事業費合計 5,080,000円

総合特別室

担当副理事長 島 村 豊 次

基本方針

2012年に五所川原青年会議所は公益法人格を取得し、公益団体としての活動を展開して今年で11年の歳月が経ちました。今日に至る背景には先輩諸兄や関係団体の方々の弛まぬ努力の下、公益事業を確実にできる組織体制を構築し地域の発展に努めてこられました。我々はその意思を受け継ぎ、地域や行政からのニーズに合わせた活動を柔軟に考え、独創性を持って活動していくと共に、社会的役割を担う団体として活発な運動を展開し、発信していかなければなりません。

その為に、五所川原の観光産業の一つでもあります「五所川原立佞武多」へ地域の担い手となる世代と伝統文化の伝承を目的に掲げ、また、これまで協働をいただいた関係団体の方に感謝する機会を創出して参ります。本年は「アオモリサマーサミット」が五所川原の地で開催されます。青森ブロック協議会と連携を密に行い、おもてなしの気持ちを持ち、大会の成功へと繋げて参ります。また、来年度は認証60周年を迎えるにあたり、これまでの歴史を振り返り次なる世代の未来へと繋げて参ります。

時代に合わせた運動を展開し続けてきましたが、今後も地域の担い手となれるよう挑戦し、地域の未来を考え、地域から社会的役割を持った団体として活動し続ける事が今後の「明るい豊かな社会」創造へと繋がる事と信じ、一年間邁進して参ります。

担当理事 松 谷 朋 典

基本方針

1963年当会が設立され、翌年に認証を受けました。さらに2012年には公益認定を取得し公益社団法人として地域の発展へと努めて参りました。この59年間という歴史の陰には、先輩諸兄による弛まぬ努力の下この地域と共に運動を展開し続けてきた結果があります。その歴史を脈々と紡がれた土壌を受け継ぐ我々現役メンバーは、その火を絶やさぬよう次なる世代を見据え、柔軟で積極的な運動を展開し発信していかなければなりません。

その為にも、「五所川原立佞武多」への参画、関係諸団体と行う夏祭りを開催することで、この地域の宝である若い世代へ祭りの魅力や意義を伝承し、次なる担い手となっていけるような事業を行って参ります。また、「2023年度アオモリサマーサミット in 五所川原大会」では、五所川原青年会議所の団結力と叡智をもって歓迎する機会を創出し、大会の成功へと繋げます。さらに、次なる世代へ向けたこれまでの歩みを振り返る事業を行うことで認承60周年へと向かっていきます。

刻々と変化する社会の中、柔軟で積極的な変化を求め次なる世代を見据えた運動を展開することで、新たな時代を築く原動力となる確実な一歩とし、やがて「明るい豊かな社会」の創造に繋がるものと信じ一年間精進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（11月）他2

「11月定例会（仮称）」

認証60周年を見据えた事業

| | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| ・通信運搬費 | 10,000円 | ・印刷製本費 | 10,000円 |
| ・賃借料 | 10,000円 | | |

予算 30,000円

※その他の事業

◎「第52回アオモリサマーサミット in 五所川原（仮称）」（7月）他2

青森ブロック協議会ブロック大会事業

| | | | |
|--------|----------|--------|----------|
| ・通信運搬費 | 10,000円 | ・印刷製本費 | 20,000円 |
| ・賃借料 | 100,000円 | ・委託費 | 850,000円 |
| ・雑費 | 20,000円 | | |

予算 1,000,000円

◎「親子で立佞武多2023（仮称）」（8月）公3

若い世代へ「五所川原立佞武多」の魅力を継承する事業

| | | | |
|--------|----------|-------|----------|
| ・通信運搬費 | 10,000円 | ・消耗品費 | 200,000円 |
| ・印刷製本費 | 40,000円 | ・賃借料 | 20,000円 |
| ・委託費 | 530,000円 | ・雑費 | 20,000円 |

予算 820,000円

◎「青年会議所夏祭り（仮称）」（8月）他3

関係団体と一緒に夏を楽しむ事業

| | | | |
|--------|---------|-------|----------|
| ・通信運搬費 | 10,000円 | ・消耗品費 | 30,000円 |
| ・印刷製本費 | 10,000円 | ・委託費 | 300,000円 |

予算 350,000円

事業費合計 2,200,000円

年間事業スケジュール(事業)

| | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 |
|-----------|--|---|--|--|---|--|
| 日本青年会議所 | 京都会議 19日(木)～22日(日) | | | | | |
| 東北地区協議会 | 正副会議 WEB17日(火) 役員会議 WEB31日(火) 会員会議所会議 京都20日(金) | 正副会議WEB 16日(木) 役員会議 仙台28日(火) | 正副会議 八戸17日(金) 役員会議 仙台29日(木) | 正副会議 盛岡14日(金) 役員会議 青森26日(木) | 正副会議 いわき12日(金) 役員会議 能代24日(木) | 正副会議 由利本荘16日(金) 役員会議 花巻28日(木) |
| 青森ブロック協議会 | 役員会議 青森12日(木) 会員会議所会議 青森28日(土) 新春名刺交換会 青森28日(土) | 役員会議 十和田7日(火) 会員会議所会議 黒石25日(土) | 役員会議 弘前8日(木) 役員会議 黒石30日(木) 会員会議所会議 八戸18日(土) | 役員会議 八戸27日(木) 会員会議所会議 三沢15日(土) 会頭公式訪問 青森5日(木) | 役員会議 むつ18日(木) 会員会議所会議 十和田6日(土) | 役員会議 五所川原14日(木) 会員会議所会議 むつ3日(土) |
| 五所川原青年会議所 | | | | | | |
| 理 事 会 | 1月3日(火) | 2月7日(火) | 3月7日(火) | 4月4日(火) | 5月2日(火) | 6月6日(火) |
| 総務合同委員会 | 新年祝賀会 | 通常総会 | | | | |
| まちづくり委員会 | | | | | まちづくり事業 | |
| 青少年委員会 | | | | 青少年育成事業 | | |
| まつり委員会 | | | まつり事業 | | | 第51回奥津軽虫と 火まつり |
| 総合特別室 | | | | | | |

| | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 |
|-----------|--|--|---|--|------------------------------------|---------------------------------------|
| 日本青年会議所 | 国際アカデミー サマーコンファレンス 22日(土)～23日(日) | | | 全国大会 大分5日(木)～8日(日) | | |
| 東北地区協議会 | 正副会議 宮城BL5日(木) 役員会議 おおさき26日(木) | 正副会議 山形BL8日(火) | 正副会議 岩手BL12日(木) 役員会議 北上1日(金) 東北青年フォーラム 北上2日(土)～3日(日) | 正副会議 福島 BL18日(木) 役員会議 白河4日(木) | 正副会議 横手9日(木) 役員会議 山形2日(木) | 役員会議 湯沢2日(土) 会員会議所会議 湯沢3日(日) |
| 青森ブロック協議会 | 会員会議所会議 五所川原1日(土) アオモリサマーサミット 五所川原 1日(土)～2日(日) | 役員会議 三沢9日(木) 会員会議所会議 弘前26日(土) | 役員会議 青森14日(土) 会員会議所会議 黒石30日(土) | 役員会議 十和田12日(木) 会員会議所会議 八戸28日(土) | 役員会議 弘前8日(木) | 会員会議所会議 青森9日(土) |
| 五所川原青年会議所 | | | | | | |
| 理 事 会 | 7月4日(火) | 8月1日(火) | 9月5日(火) | 10月3日(火) | 11月7日(火) | 12月5日(火) |
| 総務合同委員会 | 役員選考委員会 委員選挙 | | 通常総会 | | | 次年度事業説明会 並びにLOM内褒賞 |
| まちづくり委員会 | | | | まちづくり事業 | | |
| 青少年委員会 | | 青少年育成事業 | | | | |
| まつり委員会 | | | | | | |
| 総合特別室 | | | | | 60周年にむけて | |